

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス 笑顔学園		公表日 令和 7年 1月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・折り畳み式の机など使用にて、活動に合わせてスペースの活用ができています。 ・運動するためのグラウンドの設備があります。	・車椅子の利用児等を受け入れた場合はスペースとしては不十分である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	・専門的支援職員を配置して、できる限りニーズに対応できるようにしている。	定員10名に対して職員3~4人※配置基準は満たしている。しかし、その日の活動や支援内容によっては少ないと感じる時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	・バリアフリーのトイレ、福祉車両、絵カード等がある。	・玄関が少し狭く一段差がある。階段が少し幅が狭くて急である。 ・着替え等の介助やクールダウンできる専用の部屋がない。 ・角対策やバリアフリー化が課題
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・整理整頓を日々、心がけています。 ・毎日、担当を決めて清掃を行っている。	・清潔面において改善すべき所がある。例：消毒液の設備強化・トイレ内が夏場はとても熱がこもってします。換気方法が課題。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			・時間帯にて空室になっている部屋（学習室等）を活用している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・定期的な会議を開催して業務改善に努めている。	・PDCAサイクルのシステム化はまだできていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・年1回実施しているアンケート等をもとに話し合いの場を持ち業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・定期的な会議を開催して職員の意見等を把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			保護者様、相談員様、市役所の係の方の助言等を業務改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・月に1回以上は社内研修を実施している。	
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・日々の児童の姿については、連絡帳でのやりとり等を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			・利用者様との面談や職員会議等で設定をしている。しかし、特に移行支援及び地域支援及び連携について具体的な支援内容とは言えない面がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・職員間で話し合って立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・固定化にならないように、職員皆でアイデアを出したり、直接子どもに聞いてみたりして取り組んでいる。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・児童に合わせて、個別活動を行ったり、集団活動に促したりと柔軟な支援ができています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日、朝昼礼内で活動の流れや対応の仕方を確認してチームで連携を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・帰りの送迎後に皆で集まって話すのは時間に余裕がないため朝礼・昼礼や気付いた点はその場で相談するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度はモニタリングを実施して、計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要性が高いと感じた時は、関係機関と会議等を行い情報共有や方向性を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・情報共有しながら、その都度対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・対象児があまりいない。児童発達支援事業所以外の所とは特に情報共有と相互理解はできていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・情報提供依頼があった場合行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現在、地域交流は少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			現在、地域交流は少ない。今後、児童の長期休暇期間中に児童館等にお出掛けを検討。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			案内等は確認しているが、積極的には参加できていない。（特にコロナ禍以降）
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・活動の様子は日々、連絡帳に記入して伝えられている。気になることがあれば、引き渡し時や電話・ライン等で伝えられている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・ペアレントトレーニングの活動導入を引き続き検討していく。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に丁寧に説明するように心がけている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・利用契約時や定期面談等で意向確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・利用契約時や定期面談等で児童発達支援管理責任者が計画の説明と同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・夏まつりや運動会等で交流の機会は設けている。保護者会等は計画中	

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月に1回程度、おたよりを利用者様に発行しています。	・SNSの活用については発信が少ないので今後、システム化を進め更新していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアル等をもとに研修・訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCP、非常災害時に関する研修や訓練を行っている。（年2回）	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			・聞き取り時にしっかりと確認をとるようにしている。状況にてその都度、確認している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・調理の活動時にその都度対応は行っているが、医師の診断書に基づく対応はできていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修を実施している。必要に応じて、同意書にて利用者様に承諾を得て様子を見守りを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				